

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 幸友会

1) 平成29年度 施設の概況

本年度も法人の運営理念に基づき、ご利用者様の人格を尊重し、敬老の心を持った介護サービスの提供に務めました。また新しい社会福祉法人制度の元、本年度より評議員会が設置され、ガバナンスの強化にも取り組みました。

また看護師の増員と理学療法士の就任によってサービス内容の充実を図るとともに、看護体制加算（Ⅱ）、個別機能訓練加算などの算定が可能となりました。

デイサービス田原荘も、平成28年度末に増築工事が終了し、より充実したサービスの提供に努めました。

2) 施設運営の取り組み

①利用者様へのサービス

ア 利用者様が必要とされるサービスを個々に把握した上で、その状態に応じた介護計画を作成し、適切な日常生活の援助に務めました。

イ 利用者様の人格を尊重し、自主性を大切に介護を目指しました。

ウ 施設での生活が単調とならないよう、季節に応じた行事を実施するとともに地域のボランティアの皆様によるレクリエーションも実施しました。（別紙表1）

エ 常勤医師（施設長の兼務）の配置により、これまでより細かな医療的ケアを実施するとともに、関連医療機関との連携もより密接なものとする事で、多様な医療ニーズにも対応しました。

オ 常勤医の関与のもと「終の住処」としての看取りケアの充実を図りました。

カ 阪奈サナトリウム歯科との連携により、口腔ケアの充実に努めました。

キ 常勤の理学療法士の就任により、リハビリテーションを一層充実させることで、生活機能の維持・向上を図りました。

ク 身体拘束の無い介護への取り組みを継続しました。

ケ 多様化する利用者様の嗜好や、嚥下状態に合致した食事の提供に務めました。さらに季節感や彩に配慮したおいしい食事の提供に努め、毎月の誕生会ではより工夫を凝らした食事の提供に務めました。

コ 「田原荘便り」を春・秋に発刊、ご家族様等へ施設情報の提供に務めました。

サ 家族交流会を10月21日に開催し、利用者様ご家族との親睦を深めました（後述）。

②施設の充実

- ア 介護の専門的知識・技能の向上のため、施設内の勉強会を充実させました。
- イ 介護福祉士資格習得のため、実務者研修の受講希望者に対して受講費用の援助を行いました。
- ウ 専門職の増員により新たな加算を取得しました（看護体制加算（Ⅱ）、個別機能訓練加算）。
- エ 専門的なりハビリテーションを実施するにあたり、必要な器具・備品を追加で購入しました。
- オ 防犯強化のため、玄関前に防犯カメラを設置しました。
- カ 衛生委員会を発足させ、労働環境・衛生の向上に取り組みました。
- キ 地域の中学生（生駒中学）3名を職場体験の実習先として受け入れました。
- ク 下記の委員会を定期開催しました。

委員会名	開催頻度	活動内容
入所選考委員会	月1回	入居予定者の決定など
身体拘束廃止委員会	月1回	身体拘束ゼロとするための検討
褥瘡対策委員会	月1回	褥瘡対策と発生予防の検討
事故検討委員会	月1回	事故再発防止のための事例検討など
栄養ケアマネジメント委員会・食事会議	月1回	栄養スクリーニング・ケア計画の作成など
胃ろう・痰吸引安全委員会	月1回	胃ろう・痰吸引を安全に実施するための検討
感染予防委員会	年2回	感染症の予防、発生時の対処方法の検討
衛生委員会	月1回	労働環境の改善・労務災害の防止に関する検討

3) 家族交流会 10月21日（土）10:00 - 14:00

本年度の家族交流会は、田原荘入所者様のご家族のみならず、日頃デイケアをご利用されているご家族にもご参加頂き10月21日に実施致しました。新しくオープンしたデイサービスの施設で開会式（理事長・施設長の挨拶等）の後、食堂・居室などでご家族団欒の昼食、その後ゲーム・催しを実施しました。

参加ご家族数 25（うちデイサービス3）、参加者107名（うち利用者様63名）
アンケート結果：良かった19件、普通2件、良くなかった0件